

## リハビリテーション科学専攻の研究内容

研究分野	担当教員	研究内容
生体構造機能・病態解析学分野	<p>●教授 高橋 尚明 &lt;nao-takahashi@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>人体の構造と運動機能について、肉眼解剖学的手法を用いて考察し、リハビリテーションに必要な機能解剖学に関する研究指導を行う。</p>
	<p>●准教授 宮崎 充功 &lt;mamiyazaki@hoku-iryo-u.ac.jp&gt; 教授 山口 明彦 教授 国永 史朗</p>	<p>筋骨格系を中心とする身体組織の可塑性について、特に身体の活動時／非活動時における適応変化の分子メカニズムを解明するため、運動生理学、生化学および分子生物学的な解析手法を用いた研究課題に関する指導を行う。</p>
	<p>●教授 小島 悟 &lt;skojima@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>バイオメカニクスをはじめとする運動学的手法を用いて、ヒトの身体運動・動作の特性やその発現機序に関する研究指導を行う。</p>
	<p>●教授 青木 光広 &lt;mitsuhiro-ao@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>バイオメカニクス手法を用い、ヒト運動器の形態・構造・機能さらに運動器疾患の病態を解明する臨床評価を实践する。現時点でのトピックスは、ワイアと表面筋電図、エコー計測を組み合わせ、体幹深部筋特に腹横筋、大腰筋の筋電を記録して、運動パフォーマンスに対する筋作動出力バランスを解明している。今年度より、肩甲下筋のエコー動態と筋電量計測、中殿筋と大腿筋膜張筋の電氣的・形態学的反応の研究を開始した。</p>
リハビリテーション治療学分野	<p>●教授 泉 唯史 &lt;izumi@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>呼吸・循環・代謝疾患に伴う運動病態生理学の理論や新知見をベースに、これらに対する新たな評価法や治療法の開発に関する研究指導を行う。</p>
	<p>●教授 吉田 晋 &lt;ydsdsm@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>脳波や経頭蓋磁気刺激などの神経生理学的手法を用いて、中枢神経疾患に対する効果的なリハビリテーション的介入方法を探求する。現在は paired-associative stimulation を用いた一次運動野の可塑性に関する研究を進めている。</p>
	<p>●教授 堀本 佳誉 &lt;h-yoshitaka@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>発達障害リハビリテーションの対象の中心である、脳性麻痺、筋ジストロフィー、二分脊椎、注意欠陥多動障害、アスペルガーなどの疾患に対する評価方法、治療手段に関する研究指導を行う。</p>
	<p>●准教授 浅野 雅子 &lt;asanom@hoku-iryo-u.ac.jp&gt;</p>	<p>精神障害者に対する作業療法介入の実践や精神科リハビリテーションに関する課題の研究指導を行う。</p>
地域健康生活支援学分野	<p>●教授 鎌田 樹寛 &lt;t.kamada@hoku-iryo-u.ac.jp&gt; 教授 本家 寿洋</p>	<p>作業行動学的観点に基づいたアプローチに焦点化した科学的根拠を持つ評価法の開発、ならびに効果的な治療や援助方法の確立を目標とした調査・比較研究を指導する。</p>
	<p>●教授 鈴木 英樹 &lt;hideki-suzuki@hoku-iryo-u.ac.jp&gt; 准教授 千葉 芳広</p>	<p>地域在宅高齢者の生活環境支援並びに積雪寒冷地における介護予防を研究課題とし、両課題に対する具体的な方策に関する研究指導を行う。</p>